

写真・ハガキで見る 歴史展

軽井沢の今昔

★町のあゆみ（一部抜粋）

西暦	和暦	できごと
1878	明治11	明治天皇 御巡幸（追分宿に御宿泊）
1884	明治17	碓氷新道 離山〜坂本間開通
1888	明治21	A.C.ショー 大塚山に別荘を建てる
1893	明治26	アパート式蒸気機関車運行開始 八田裕二郎 日本人初の別荘を建てる
1894	明治27	亀屋旅館を改造し、万平ホテル開業
1906	明治39	三笠ホテル開業
1915	大正 4	草津軽便鉄道 新軽井沢〜小瀬間開通
1916	大正 5	D.ノルマンら「軽井沢避暑団」結成
1918	大正 7	軽井沢通俗夏季大学開講
1921	大正10	北原白秋「落葉松」の詩を発表
1922	大正11	避暑団夏季診療所 開設
1923	大正12	東長倉村 町制をしき、「軽井沢町」と改称 (人口5,012人)
1931	昭和 6	室生犀星 小宅を構える
1935	昭和10	聖パウロ教会開設（A.レーモンド設計）
1942	昭和17	軽井沢町 西長倉村を編入



軽井沢駅内の風景
※小川篤介氏提供



旧三笠ホテル（明治末期）
※土屋写真店提供

文化講座のお知らせ

別荘開発に見る軽井沢の歴史

日 時：7月22日（土） 13時30分〜15時
場 所：中軽井沢図書館 2階 多目的室
講 師：内田青蔵 氏（神奈川大学建築学部 特任教授）
対 象：中学生以上
料 金：無料 定 員：70名
※7月1日（土）9時から歴史民俗資料館の窓口・電話で受付開始。



西暦	和暦	できごと
----	----	------



旧軽井沢京口（白石青果・蛇の目寿司）
※森澤勇氏撮影 森澤ケン氏提供



軽井沢スケートセンター
※幅北光氏撮影 軽井沢高原文庫提供

1949	昭和24	皇太子明仁親王 三井別荘へご避暑 (翌年から千ヶ滝プリンスホテルへ)
1951	昭和26	「軽井沢町国際親善文化観光都市建設法」公布
1953	昭和28	軽井沢湖（南軽湖）完成
1960	昭和35	沓掛区を「中軽井沢区」に改称
1963	昭和38	碓氷新線完成、アパート式廃止
1964	昭和39	第18回オリンピック東京大会「総合馬術大会」開催
1968	昭和43	ノンストップ特急「そよかぜ号」運行
1970	昭和45	別荘戸数（寮等含む）5,000戸を超す
1971	昭和46	碓氷バイパス開通
1993	平成 5	上信越自動車道 藤岡〜佐久間開通
1997	平成 9	北陸新幹線 東京〜軽井沢〜長野間開通
1998	平成10	第18回オリンピック冬季競技大会「カーリング競技」開催
1999	平成11	カナダ・ウィスラー市と姉妹都市提携
2016	平成28	G7長野県・軽井沢交通大臣会合開催
2019	令和 元	G20エネルギー環境大臣会合開催
2023	令和 5	G7長野県軽井沢外務大臣会合開催



英国聖公会礼拝堂 ※土屋写真店提供

町制施行100周年記念特別企画展

写真・ハガキで見る 歴史展

軽井沢の今昔



大正12年頃の旧軽井沢本通り 【土屋写真店 提供】



昭和8年頃の旧軽井沢本通り 【土屋写真店 提供】



昭和40年の旧軽井沢本通り 【土屋写真店 提供】



令和5年の旧軽井沢本通り 【歴史民俗資料館 撮影】

【申込み・問い合わせ先】

軽井沢町歴史民俗資料館

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2112-101

TEL.0267-42-6334

<https://www.town.karuizawa.lg.jp/>

※最新の展覧会情報は、HPをご確認ください。



令和5年

7/1[土] → 11/15[水]

開館時間 9:00 → 17:00 [入館は16:30まで]

休 館 日 7月3日[月]・10日[月]・11月6日[月]・13日[月]

料 金 大人 400円 小中高生 200円

※旧近衛文麿別荘（市村記念館）も見学することができます。

軽井沢町歴史民俗資料館

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2112-101
TEL.0267-42-6334 <https://www.town.karuizawa.lg.jp/>



KARUIZAWA Town's

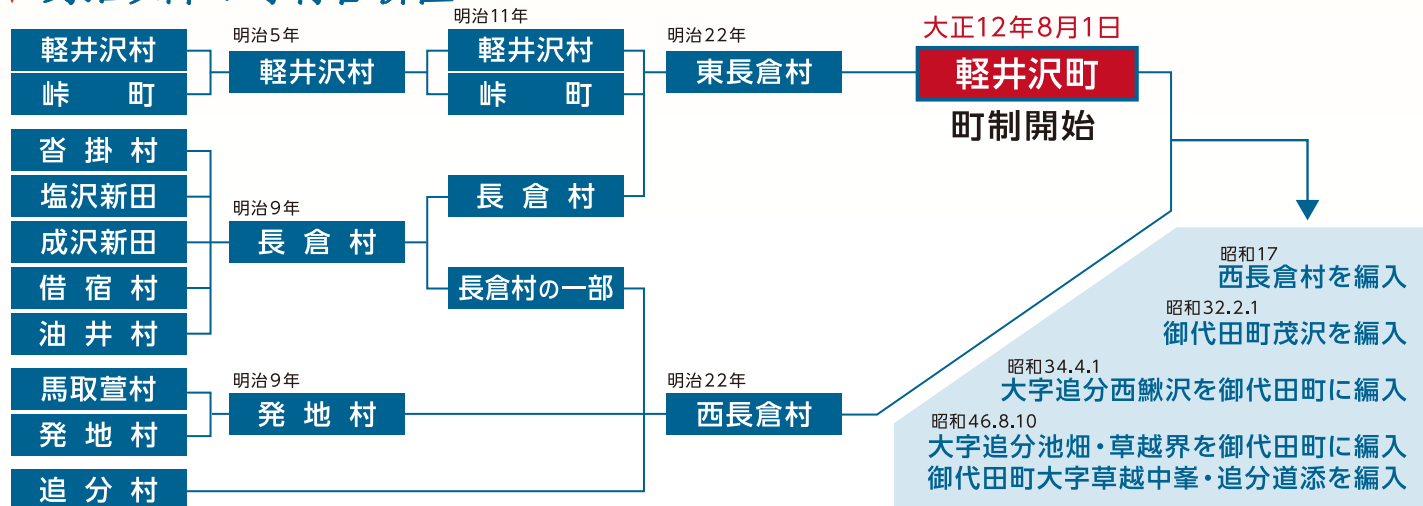
100 Anniversary

写真・ハガキで見る 歴史展

軽井沢の今昔

明治に入り、外国人宣教師たちによって保健休養地としての魅力を見出された軽井沢。はじめは10の町村等に分かれていましたが、大正12年に東長倉村が町制を施行して「軽井沢町」となり、今年で100周年を迎えます。本展示では、江戸時代に「浅間根腰の三宿」と呼ばれ、宿場町（軽井沢宿・沓掛宿・追分宿）として栄えた軽井沢町が、町制を開始してから国際親善文化観光都市として花開いていったその歴史を、写真と絵はがきで振り返ります。

★ 明治以降の町村合併図

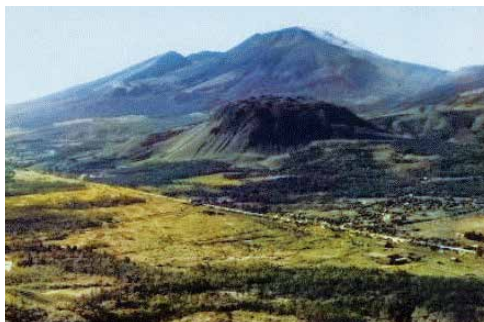


展示紹介

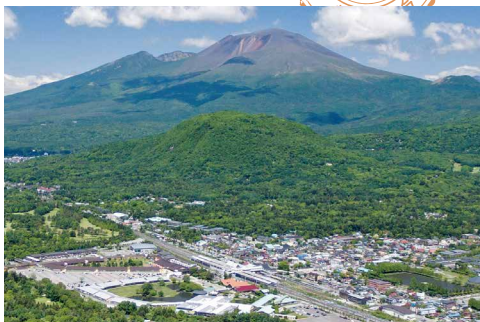
軽井沢の今昔



昭和22年撮影 軽井沢駅周辺空撮（モノクロ）



昭和22年撮影 軽井沢駅周辺空撮（カラー）

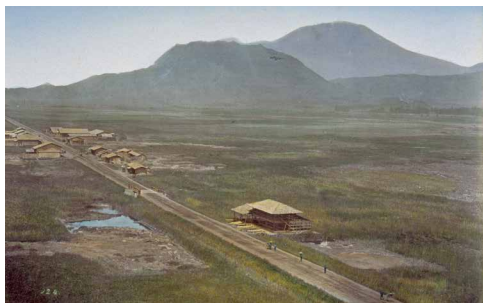


平成29年撮影 軽井沢駅周辺空撮（カラー）

昭和の軽井沢のモノクロ写真をカラー化した写真と現在の写真との比較や、国際親善文化観光都市への変遷を展示しています。かつての姿を知り、今を見つめ、これからの在り方に思いを巡らせるコーナーです。

展示紹介

明治・大正の軽井沢



中山道軽井沢からの浅間山（明治中期）
※長崎大学附属図書館所蔵



中山道追分の宿場（明治中期）
※長崎大学附属図書館所蔵



旧軽井沢の風景（大正4年頃）
※小川篤介氏提供

町制が始まる前の軽井沢の写真を展示しています。宿場町の衰退後、外国人宣教師の来軽によって活気を取り戻していく歴史を振り返るコーナーです。

展示紹介

地域ごとに見る昭和の軽井沢

町内の地域ごとの写真を集めて展示しています。初めて見る方には地域ごとの景観の違いを、訪れたことのある方には現在と過去の景観の違いを楽しんでいただけるコーナーです。



三笠書房（中屋）と
のんきや青果（現八十二銀行）
※森澤勇氏撮影 森澤ケン氏提供



1935年（昭和10年）
岳麓にどっしりと
礎をすえた
星野温泉旅館
全景
※星野リゾート提供



信濃追分駅周辺（西から東）
※森澤勇氏撮影 森澤ケン氏提供



現旧軽井沢ロータリー付近
※森澤勇氏撮影 森澤ケン氏提供



峠町（熊野神社の石碑）
※森澤勇氏撮影 森澤ケン氏提供



南軽井沢 ボート遊び
※森澤勇氏撮影 森澤ケン氏提供

展示紹介

絵はがきで見る軽井沢

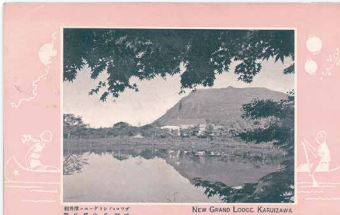


絶景峰より見たる浅間山

軽井沢の街並みと離山、噴煙をあげる浅間山が見えます。右上に、大正2年のものと見られるスタンプが押されています。

軽井沢における避暑団集會堂

1926（大正15）年建築の「軽井沢集會堂（避暑団集會堂）」。「ヴォーリズ建築のひとつで、講演会等の催しがなされました。

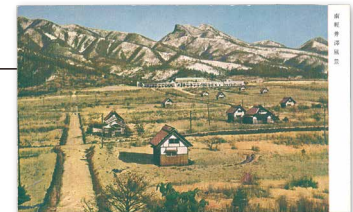


南軽井沢の風景

1938（昭和13）年に国家総動員法が公布され、南軽井沢一帯は軍事教練場となりました。奥の白い建物は、その宿舎でした。

軽井沢ニューグランド：ロッジ
離山麓白鳥湖畔

1929（昭和4）年に横浜ホテルニューグランド直営の夏季限定リゾートとして開業した「軽井沢ニューグランド・ロッジ」。



明治～昭和の軽井沢の風景や街並みを撮影した絵はがきを展示しています。現在は残っていない建物等、絵はがきを通して当時の軽井沢を知ることができるコーナーです。